

探究・校務改革
支援補助金
2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社Discovery Studio

【サービス名称】

ディスカバ!for School 探究レッスン

ディスカバ!for School 探究発見ガイド

【サービスの支援項目】

カテゴリー1 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



ディスカバ! for School
高校と大学をつなぐ探究
ディスカバ! for School
2025年度概要資料

■ 探究・校務改革支援サービスの概要

カテゴリⅠ-Ⅰ 探究的な学びの高度化 メインサービス【ディスカバ!for School 探究レッスン】

1. サービスの概要、特徴

探究の「課題設定」につながる問いを楽しく見つけるための体験型教材です。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ① 体験型のプログラム 探究・進路に取り組むハードルを限りなく下げている。
- ② 探究と学問の接続 学問分野にもとづき大学教職員が監修し、探究のレッスン用としてサービス開発。
- ③ 大学生メンター 選抜を経て研修を受講した大学生が探究をサポート。

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ① 教材セット ワークブックや映像教材の使用により授業推進の質が安定。
- ② コーディネーター 授業導入や実施のサポート、ときには講師として授業を推進。
- ③ 高大連携支援 大学生や大学教職員とスムーズに連携する調整の支援。

(3) サービスの活用場面

「総合的な探究の時間」の授業で実施 特に探究の導入段階に学問分野にもとづく大学の探究テーマを提供することで、探究の学習サイクルの演習を支援。

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

1ライセンス(1サービス)あたり税抜き600円 ----->

補足

※利用料に印刷物の教材配布も含まれます。

※コーディネーターによる導入支援も含まれます。

※スタッフの現地派遣については、地域・回数によって追加費用が発生する場合があります。

※利用料に通信費は含まれません。



2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

担当コーディネーターを配置しフェイズごとに支援を行う。

- ① 導入期サポート 教材の実施計画作成や、学年の教員全員への教材説明など、実施準備のための支援を行う。
- ② 実施期サポート サービスが効果的に利用されるようサポートするとともに、ときには講師として授業を推進する。
- ③ 外部連携サポート 大学生や大学教職員などを授業に招く際の調整を行う。

■ 探究・校務改革支援サービスの概要

カテゴリ-1 探究的な学びの高度化 メインサービス【ディスカバ!for School 探究発見ガイド】

1. サービスの概要、特徴

探究のプロセスに慣れるために、大学が監修した学問探究を楽しく「レッスン」するための体験型教材です。

(1)導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ①体験型のプログラム 探究・進路に取り組むハードルを限りなく下げている。
- ②探究と進路の接続 実際の「探究入試」等、大学入試の現場での合否にもとづく知見をもとに、大学入試につながる視点でサービス開発。
- ③大学生メンター 選抜を経て研修を受講した大学生が探究をサポート。

(2)学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ①教材セット ワークブックや映像教材の使用により授業推進の質が安定。
- ②コーディネーター 授業導入や実施のサポート、ときには講師として授業を推進。
- ③高大連携支援 大学生や大学教職員とスムーズに連携する調整の支援。

(3)サービスの活用場面

「総合的な探究の時間」の授業で実施 特に探究の課題設定段階における探究テーマ発見を支援することで、探究の学習サイクルを駆動させる。

(4)1サービスあたりの標準販売価格

1ライセンス(1サービス)あたり税抜 600円 ----->

補足
 ※利用料に印刷物の教材配布も含まれます。
 ※コーディネーターによる導入支援も含まれます。
 ※スタッフの現地派遣については、地域・回数によって追加費用が発生する場合があります。
 ※利用料に通信費は含まれません。



2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

担当コーディネーターを配置しフェイズごとに支援を行う。

- ①導入期サポート 教材の実施計画作成や、学年の教員全員への教材説明など、実施準備のための支援を行う。
- ②実施期サポート サービスが効果的に利用されるようサポートするとともに、ときには講師として授業を推進する。
- ③外部連携サポート 大学生や大学教職員などを授業に招く際の調整を行う。

大学の視点で開発したプログラムと、コーディネーターの支援が、生徒・教職員の課題を解決します。

児童生徒・教職員が抱える課題

(1) 生徒の課題: 探究へのモチベーションが低い

全国調査によると、探究の目的や意義が明確に伝わらず、「やる意味がわからない」と感じる生徒が約4割に達していることが挙げられ、進路や将来との関連性が実感しにくいことが影響しています。

参照: 2023年Studyplusトレンド「総合的な探究の時間」に関するアンケート調査

(2) 教職員の課題: 探究をどう進めたらいいかわからない

テーマ設定や方法の具体像が示されず、評価基準も不明確なまま活動が始まることで、見通しを持たず主体性が生まれにくい点があります。

サービスが果たす役割

(1) 生徒の動機づけ

- ① 体験型のプログラムにより、探究・進路に取り組むハードルを限りなく下げます。
- ② 実際の「探究入試」等、大学入試の現場での合否にもとづく知見をもとに、大学入試につながる視点を提供します。
- ③ 選抜を経て研修を受講した大学生が探究をサポートします。

(2) 教職員へ指導法を提供

- ① ワークブックや映像教材の提供により授業推進の質を安定させます。
- ② コーディネーターが授業導入や実施をサポートし、ときには講師として授業を推進します。
- ③ 大学生や大学教職員とスムーズに連携する調整を支援します。

サービスの活用風景・授業の流れ

① 授業の導入回に大学生を派遣

導入期において探究のモチベーションを引き出すため、大学生を派遣。クイズやワークを実施するほか、体験談を紹介する。



生徒の課題: 探究へのモチベーションが低い」を導入回で解決

③ 探究の成果をプレゼンテーション

教材ごとに設定されたテーマに沿って、グループでプレゼンテーションを実施。投影スライドの雛形も教材に含まれている。

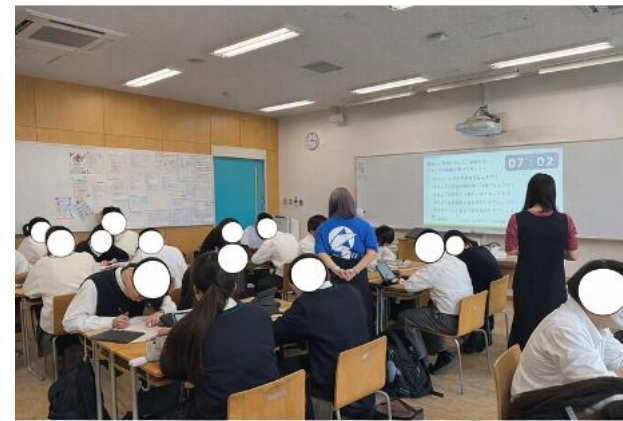


② 教材を用いてグループワーク型の演習

デジタル版と紙の冊子
いずれかを学校の要望に
応じて提供。



探究レッスン 探究発見ガイド



教職員の課題: 探究をどう進行したらいいかわからないを教材で解決

④ 発表に講評したゲストとの集合写真

発表に対して、大学教職員
や大学生、または専門家による
質疑応答や講評を実施。



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	4	学校等教育機関数	4校
--------	---	----------	----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	神奈川県教育委員会	神奈川県立城郷高等学校	神奈川県	高等学校	1年	総合的な探究の時間において「探究レッスン」によるグループワーク演習
2	学校法人聖母女学院	香里ヌヴェール学院高等学校	大阪府	高等学校	1年,2年,3年	総合的な探究の時間において「探究レッスン」によるグループワーク演習
3	埼玉県教育委員会	埼玉県立進修館高等学校	埼玉県	高等学校	1年,2年	総合的な探究の時間において「探究発見ガイド」による課題設定
4	栃木県教育委員会	栃木県立佐野東高等学校	栃木県	高等学校	1年,2年	総合的な探究の時間において「探究発見ガイド」による課題設定

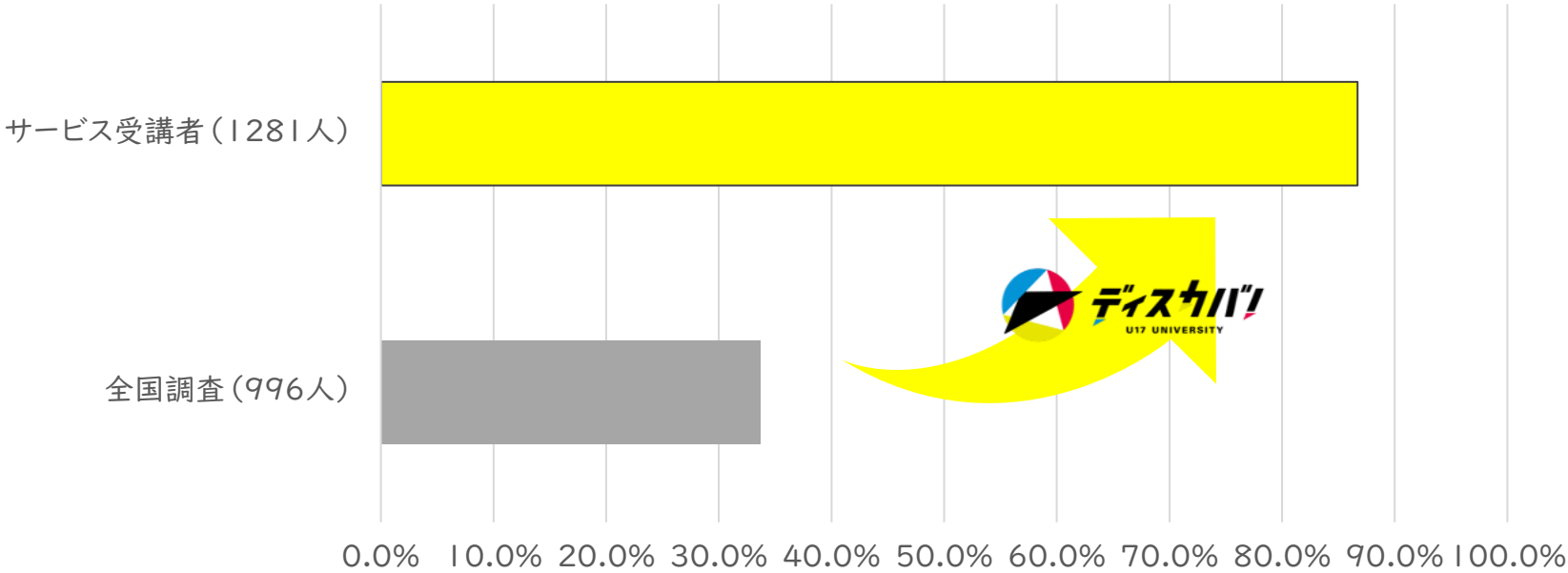
定量的効果検証

将来、必要な能力が身につくと感じている高校生は 全国調査の2.5倍以上

ディスカバ!for Schoolのサービスで探究すると、「なぜ探究するのか」という価値認識が飛躍的に高まります。

■効果検証
サービス受講を通して、導入時の解説を受け、演習・ふりかえりを繰り返すことを通して、探究に取り組むことの価値認識が飛躍的に高まったと推察できます。

■調査概要
調査時期:2025年12月
調査方法:Googleフォームによるアンケート
調査対象:導入4高校・対象学年の受講者
選択肢:4択
回答数:1281人



	全国調査(996人)	サービス受講者(1281人)
■ 将来、必要な能力が身につくと感じている	33.7%	86.7%

※全国調査の引用:2023/09/27 Studyplusトレンド研究所「総合的な探究の時間」に関するアンケート調査

■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

よくわからないけどなんだか楽しい 高校生は
全国調査の3.4倍以上

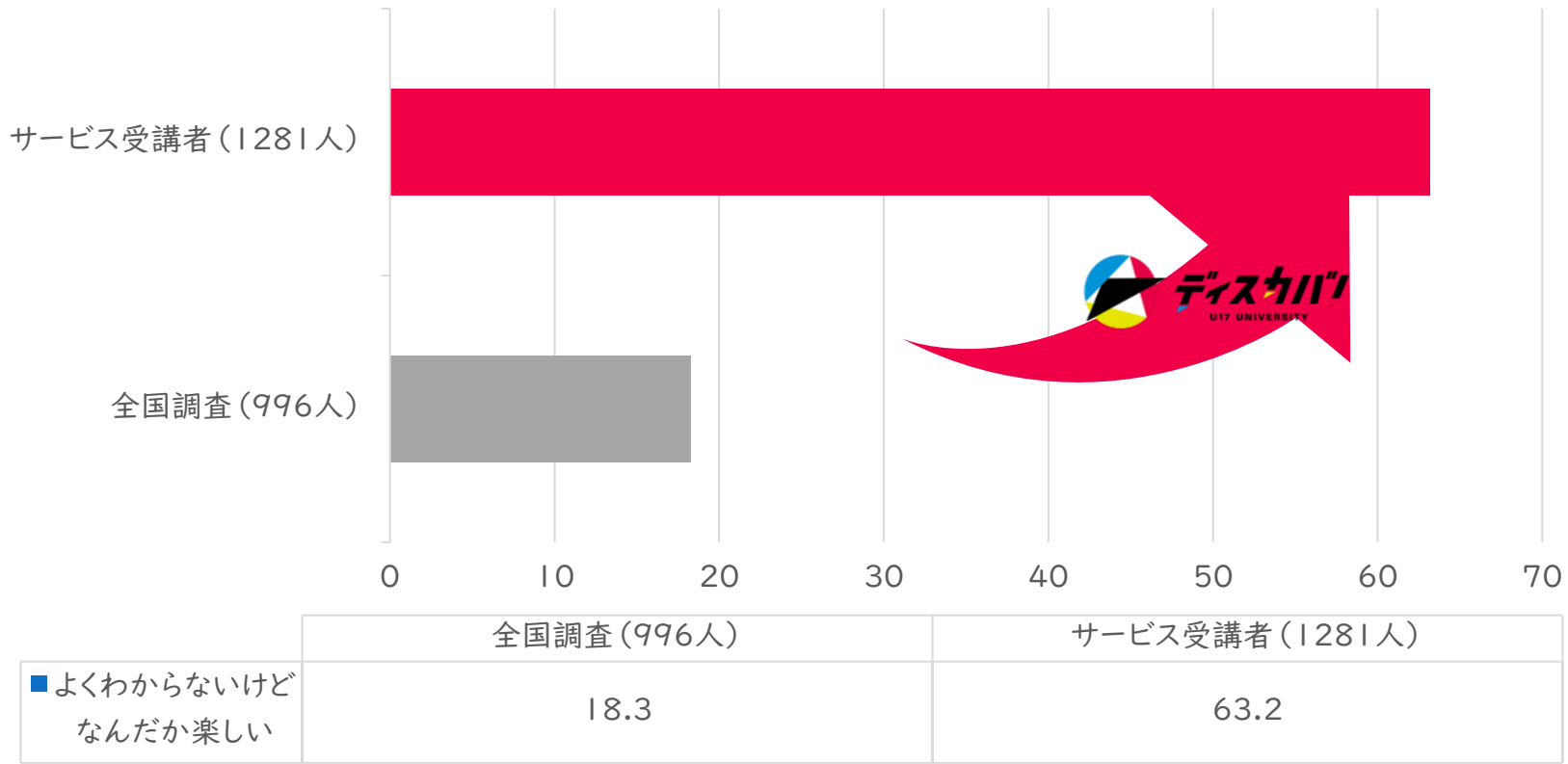
ディスカバ!for Schoolの
探究は、飽きることないワクワク
が続くので、体験としての楽しさ
が段違いです。

■効果検証

サービス受講すべての過程において、体験型の手法で学習経験を積んだことで、探究へのモチベーションが飛躍的に高まったと推察できます。

■調査概要

調査時期:2025年12月
調査方法:Googleフォームによるアンケート
調査対象:導入4高校・対象学年の受講者
選択肢:4択
回答数:1281人



※全国調査の引用:2023/09/27 Studyplusトレンド研究所「総合的な探究の時間」に関するアンケート調査

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

探究学習が入試にも役立つことを知っている高校生は 全国調査の1.6倍以上

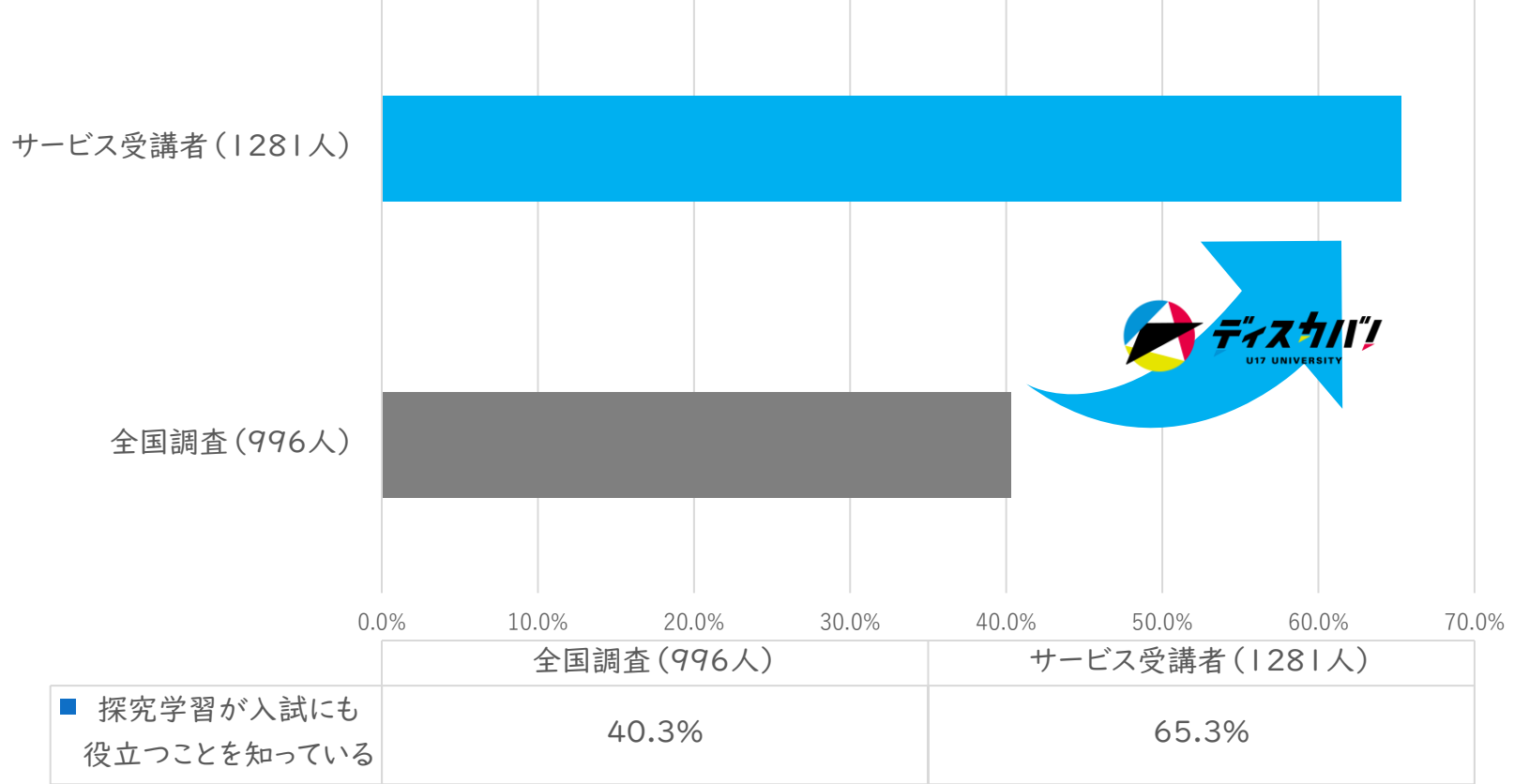
ディスカバ!for Schoolの
教材は、大学の監修で開発され
ているので、探究が大学の学問
や進路実現にもつながることを
自然と学べます。

■効果検証

サービス受講の過程において、大学からの
実際の生の声を届けていることが、進
路へのつながりへの理解度を飛躍的に高
まったと推察できます。

■調査概要

調査時期:2025年12月
調査方法:Googleフォームによるアンケート
調査対象:導入4高校・対象学年の受講者
選択肢:4択
回答数:1281人



※全国調査の引用:2023/09/27 Studyplusトレンド研究所「総合的な探究の時間」に関するアンケート調査

定性的効果検証

教材の学習効果が浸透したのは、大学生による「憧れ」や「動機づけ」の影響が大きかったことがわかります。

■効果検証

サービス受講の過程において、発表に向けたグループワーク型の学習プロセスが成長実感につながった様子が見られます。
また、大学生による伴走を通して刺激を受け、進路意識が高まったと推察できます。

■調査概要

調査時期:2025年12月
調査方法:アンケート用紙
調査対象:導入4高校の大学生派遣実施後
回答数:12件

Aさん(高2年生・女子)
利用サービス:探究レッスン



学習効果について:

教材の探究課題として設定されていた「エンターテインメントビジネス」が、ちょうどこれから目指したい進路だった。深く探究する中で意欲が高まり、専門的に学ぶ大学生からの助言で、さらに視野が広がった。

Bさん(高2年生・女子)
利用サービス:探究発見ガイド



学習効果について:

探究テーマに沿ったアンケート作成について、これまではなんとなく取り組んでいたが、教材を通して論理的でズレのない調査手法について学ぶことができた。これから自分で設定した課題について取り組むときにも、この学びを応用できそう。

Cさん(高1年生・女子)
利用サービス:探究レッスン

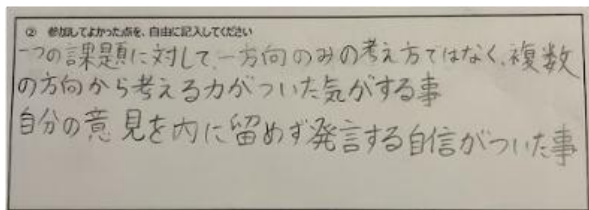


学習効果について:

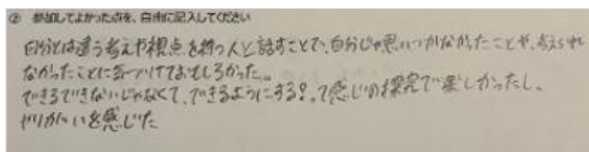
「探究」という言葉もよくわからず、はじめは聞き流すような状況だったが、グループワークが始まり、大学生から声をかけてもらったりしていく中で、徐々に関心や理解が引き出されていった。

サービス受講により、探究を通じた成長実感や進路・将来に向けた気づきが生まれました。

成長実感についての感想

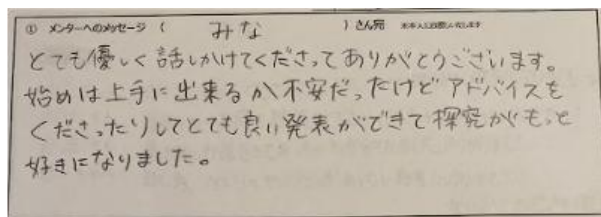


一つの課題に対して、一方向のみの考え方ではなく、複数の方向から考える力がついた気がする事。自分の意見を内に留めず発言する自信がついた事。

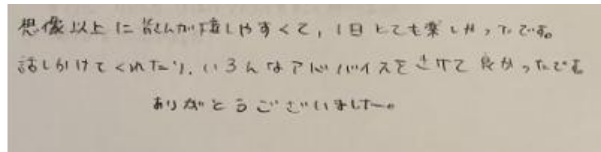


自分とは違う考えや視点を持つ人と話すことで、自分じゃ思いつかなかったことや、考えられなかったことに気づけておもしろかった。できるできないじゃなくて、できるようにする!って感じの探究で楽しかったし、やりがいを感じた。

大学生メンターへの感想

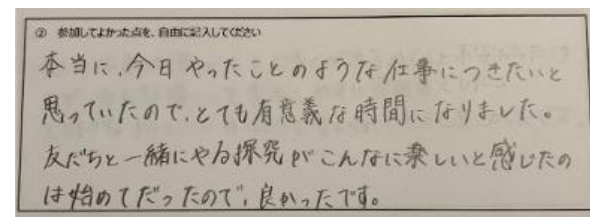


とても優しく話しかけてくださってありがとうございます。始めは上手に出来るか不安だったがアドバイスをくださったりしてとても良い発表ができて探究がもっと好きになりました。

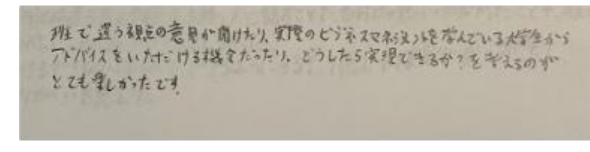


想像以上に皆さんが接しやすくて、1日とても楽しかったです。話しかけてくれたり、いろんなアドバイスをきけて良かったです。ありがとうございました。

進路・将来に向けた感想



本当に、今日やったことのような仕事につきたいと思っていたので、とても有意義な時間になりました。友だちと一緒にやる探究がこんなに楽しいと感じたのは始めてだったので、良かったです。



班で違う視点の意見が聞けたり、実際のビジネスマネジメントを学んでいる大学生からアドバイスをいただける機会だったり、どうしたら実現できるかを考えるのがとても楽しかったです。

導入や実施における課題は、コーディネーターや大学生メンターのサポートで克服しました。
一方で、3学年全体でどのようなカリキュラムを構築するかという新たな課題も顕在化しました。

直面した課題

①導入時の課題

導入した教材にもとづくプログラム実施時期の調整について、学校内・学年内での合意形成をはかることが課題となった。

②実施していく中での課題

生徒によっては教材の難易度が合わず、取り組みが遅延するケースが見られた。

③実施した結果、新たに顕在化した課題

教材やプログラムを完了した後の、3学年全体でのプログラム・カリキュラムをどのように推進していくか、課題が残った。

解決するための改善策

①導入時の課題

コーディネーターが粘り強く学校に伴走し、他校の先進事例を伝えるなどして、実施時期の調整や教員間の合意形成を進めた。

②実施していく中での課題

プログラム推進過程では難航した時期には大学生メンターの派遣頻度を高めることで、生徒の取り組みを支援した。

③実施した結果、新たに顕在化した課題

「探究レッスン」「探究発見ガイド」両方のプログラムを活用することで、3学年にまたがる全体的なカリキュラムを構築できる旨を提案した。

■会社概要

社名	株式会社Discovery Studio
代表	今村亮
設立年月	2020年12月23日
本社	〒165-0026 東京都中野区新井3-32-3
資本金等	1,000,000円
売上高等	49百万円(2025年度)
従業員数	4人
事業内容	「可能性を見つける偶然を仕組みにする」をコンセプトに、高校・大学・自治体・企業と連携してプログラムを提供する教育コーディネート会社です。

■お問い合わせ窓口

担当:今村亮

電話:080-3354-8823

Mail:info@discoverystudio.jp